

岐阜県上石津町時地区

---

# 『時』は金なり

2006年1月18日

中村 裕司

---

# 目次

1. 社会のスタイル

—

2. 持続する市民活動

—

3. 市民が変える公共サービス

—

4. 市民が出資する新しい金融

—

5. 市民が起こす公共サービス

—

## 社会のスタイル

## 国のカタチ

スタイル (かたち)

来し方

行く先

公

‘官民’二分法

‘官民共’三分法

地域

平均 一律 共通

個別 場合分け

公共サービス

官製サービス

社会 (市民) サービス

参加

住民慰撫

住民決定

まちづくり

“カタチ”（形）づくり

「事業・予算ありき」方式

モノ・カネ・セイド（制度）

一時的・閉じた関係

開発・ごうまん・お仕着せ

手垢にまみれた

まち育み

“カチ”（価値）づくり

「人間・生活ありき」方式

ヒト・ココロ・イノチ

長期的・開かれた関係

持続・受容・自発

新鮮なひびき

そこに「住まい」、  
そこに「暮らす」人々が、  
その「たたずまい」について  
いつも関われる状況をつくる

「まち育み」には“プロはいない”  
誰もがプロデューサー（総合する人）  
誰もがクリエイター（創造する人）  
誰もがイニシエーター（始める人）  
誰もがファシリテーター（促進する人）

「まちこわし」をもたらす  
“従来型”事業主体・専門家を超える

社会のスタイル

# これからの自治体 あるべき姿

	厚生経済アプローチ	公共選択アプローチ
社会資本	施設資本 ↓ インフラ整備	コミュニティ資本 ↓ 人間のきずな
公」の範囲	官」	官」+ 民」
都市計画	まちづくり	まちはぐくみ

## 社会のスタイル

# コミュニティ資本 自治体の真の資本

目的

これまでの社会資本

インフラ整備

これからの社会資本

人間のきずな

分類

### 1. 産業関連社会資本

道路

港湾

農村道

工業用水

1. 自然資本 : 自然環境

2. 施設資本 : 公共施設、インフラストラクチャ

3. 制度資本 : 教育、医療、子育て支援

4. 関係資本 : 「協調」「信頼」能力

近所づきあい、近隣助け合い、サークル、PTA、町内会

5. 文化資本 : 「文化的有利さ」の大小

知識、文化財、言語能力、習慣、ものの見方

行政  
目標

経済的ゆたかさ  
モノ

ココロのゆたかさ  
関係

これから

まち育み

+

地域おこし

定住人口より交流人口を増やす

そのために

地域内産業の循環

地場産業の育成

地域雇用の増大

高質な田園資産を守る（コンパクト・シティ）

そのために

市民社会的な意思決定

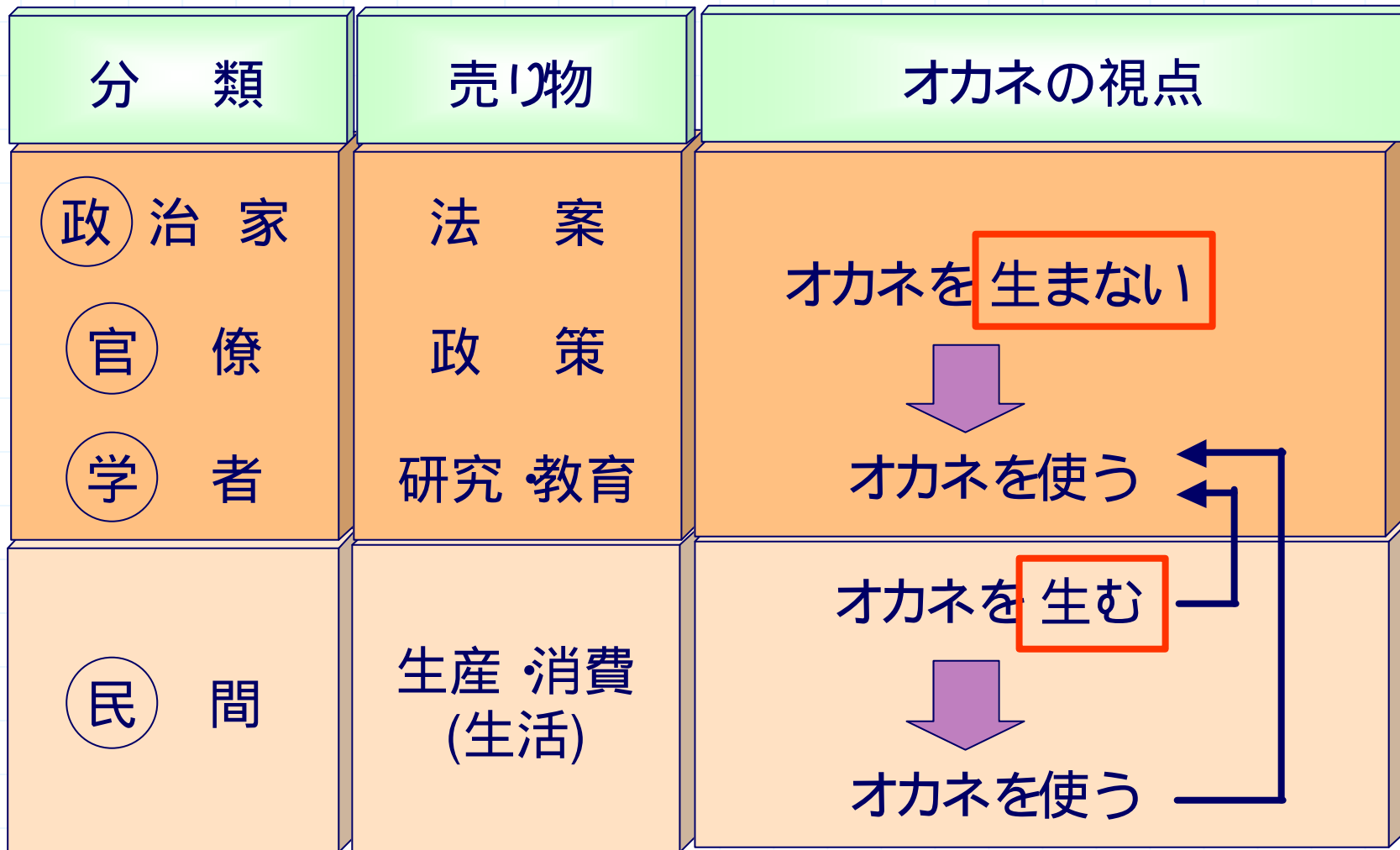
地域における生きがい活動

個人のアイデンティティを町村で



# 持続する市民活動

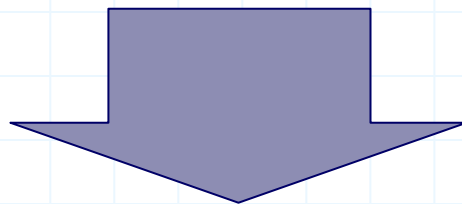
## ③政 ③官 ③学 VS ③民



なぜ、市民活動は持続しないか？

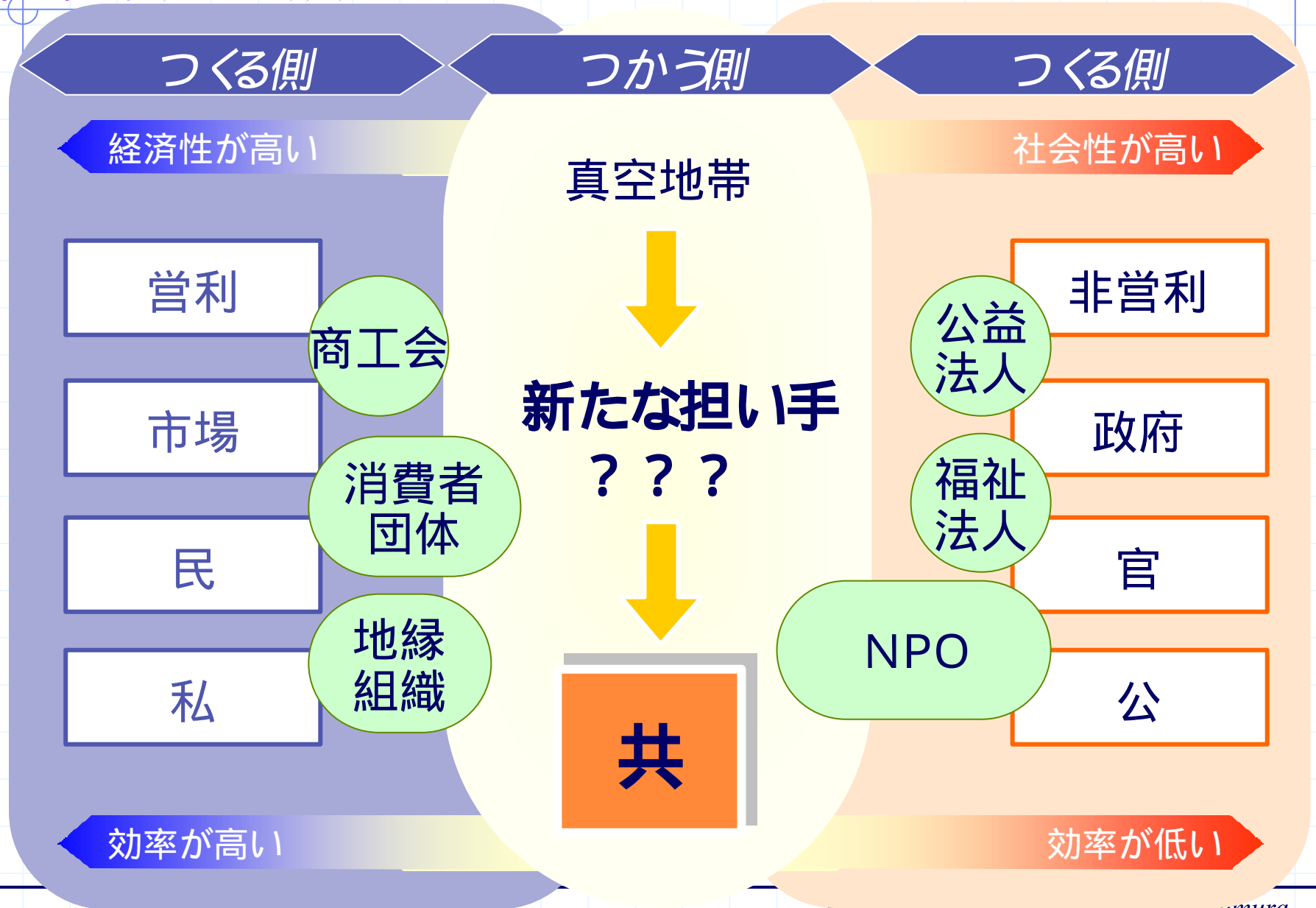
オカネを生まず、オカネを使う  
③政 ③官 ③学 と同じ

オカネを生まず、オカネを使わない  
目的・関心・向上心を失う



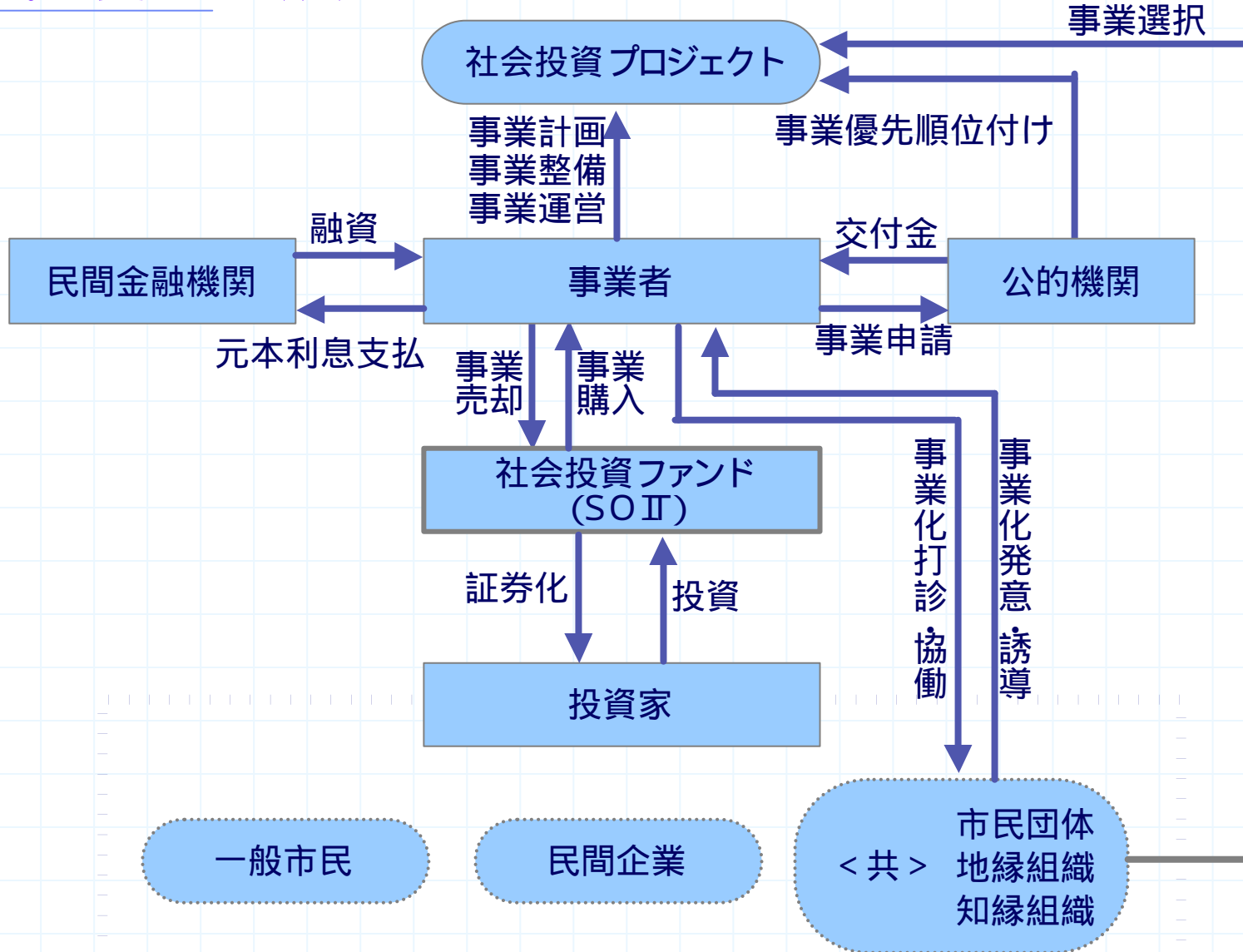
市民活動では「オカネを生み出す」が原点

# 市民が変える公共サービス 真空地帯を誰がになう？



# 市民が変える公共サービス

# 社会投資ファンド



# 市民が変える公共サービス

# 市民による公共選択

市民による資金提供の選択

① = 企業の選択

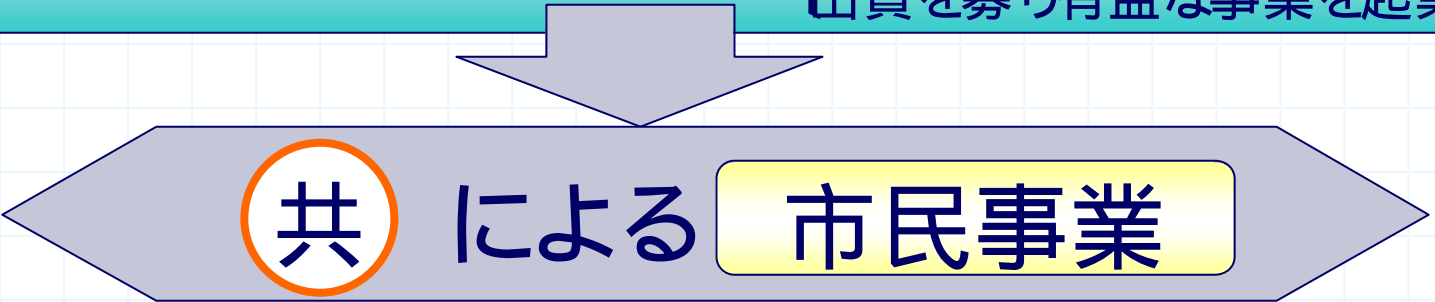
- 社会的責任投資  
社会的責任を果たす企業に投資]
- 社会貢献型商品の購入

② = 行政の選択

- 公募債  
有益な事業のみに投資]
- 使途指定寄付
- 使途指定納税 市川市 1%]

③ = 中間集団の選択

- 金融NPO  
資金を集め有益な事業に投資]
- 社会的企業  
出資を募り有益な事業を起業]



## 市民が変える公共サービス

# 行政の新しいサポート

種 別	名 称	設 立	基金又は 助成金	資金提供者
公益信託	世田谷まちづくりファンド	1992年	4,000万円	世田谷区 + 寄付
	高知市まちづくりファンド	2003年	3,000万円	高知市 + 寄付
公社資金	千代田まちづくりサポート	2005年	10億4,000万円	(財)まちみらい千代田
	あだちまちづくりトラスト	1998年	11億7,000万円	足立区
住民参加型 ファンド	ヨコハマ市民まち普請事業	2005年	500万円/件	横浜市
	まちづくりファンド	2005年	2,000万円/件	(財)民都機構

建前

補助金と違い、行政の恣意が入らない助成制度

実際

「公開審査会」を通じた行政による誘導

矛盾

市民が出資する新しい金融

# 金融NPOの登場

## 金融NPOとは？

市民出資型 の新しい金融の仕組み

市民から集めた資金 → 地域内事業 に融資

銀行ではない

預金 ×

出資

→ 貸し付け

融資先

地域に密着 した事業

社会的に意義 ある事業

現代版 頼母子講

## 市民が出資する新しい金融

# 金融NPOの事例

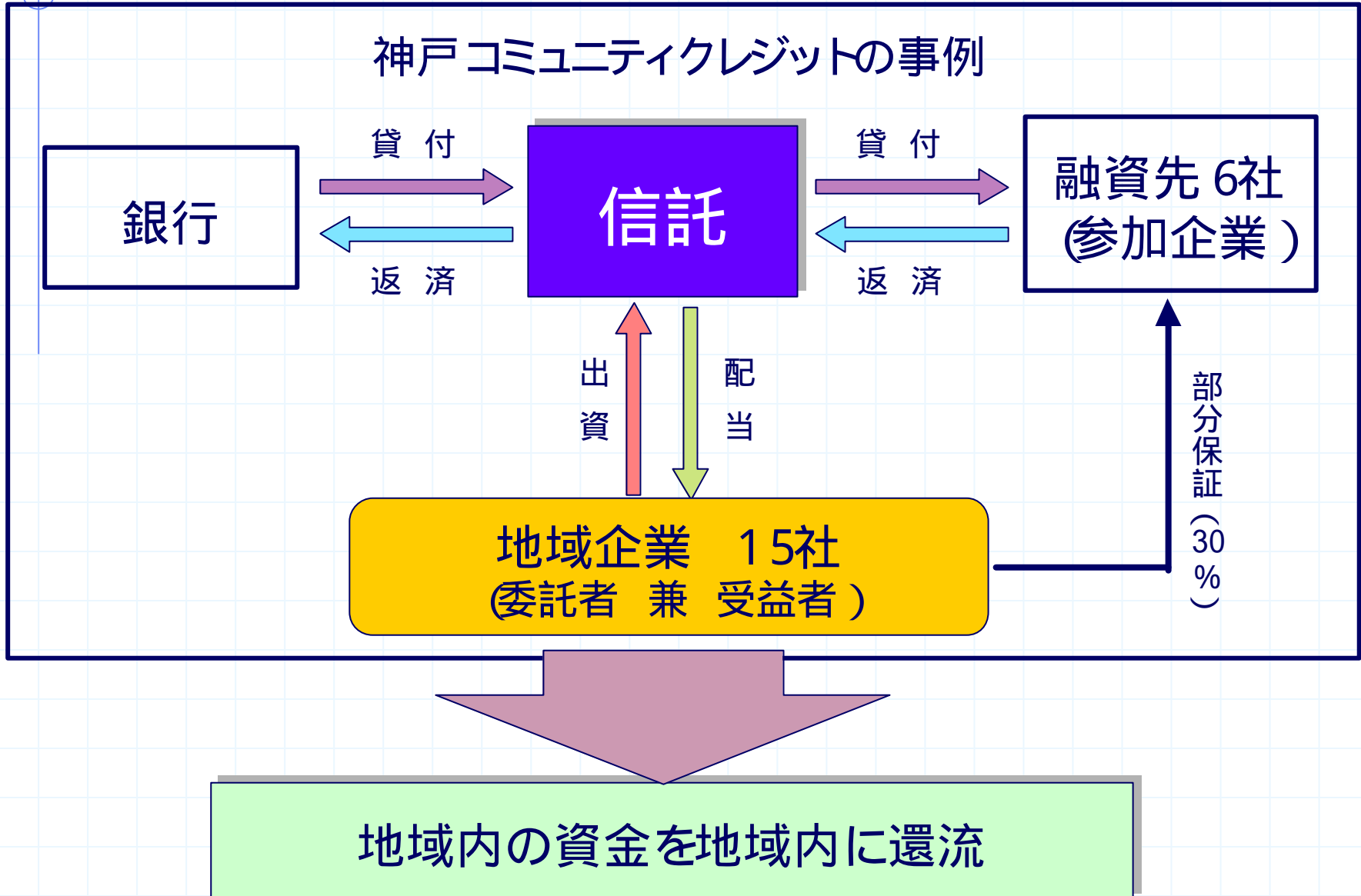
名称	設立年 所在地	最低出資額	融資先・融資額	融資限度額	年利
未来バンク 事業組合	1994年 東京都	1万円	環境NPO 累計 5.5億円	出資額の10倍	3%
女性・市民 信用組合	1998年 横浜市	10万円	女性起業家 福祉NPO 3億円 (70件)	出資金の20倍 又は 1,000万円	2- 5%
北海道 NPOバンク	2002年 札幌市	1万円	太陽光発電 6,600万円 (40件)	200万円	2%
NPO夢 バンク	2003年 長野市	1万円	託児所 1,650万円 (6件)	300万円	2% 以上
東京コミュニティ パワーバンク	2003年 東京都	5万円	高齢者グループハウス 1,800万円 (4件)	出資額の10倍 又は 1,000万円	2%



# 市民が出資する新しい金融

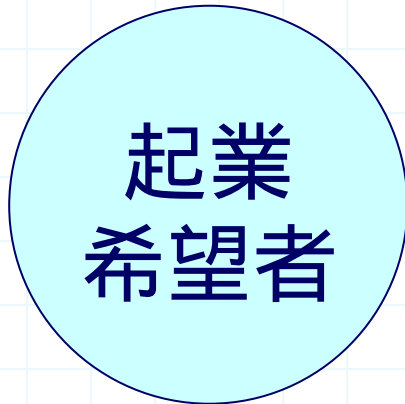
# コミュニティクレジット

## 神戸コミュニティクレジットの事例

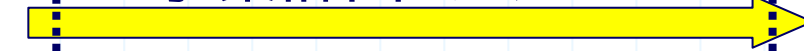


市民が出資する新しい金融

# 公開起業オークション

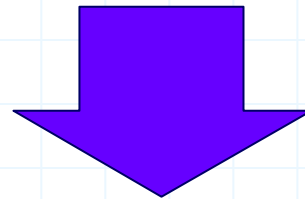
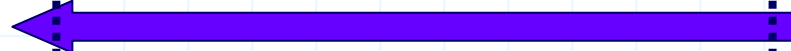


事業計画・プレゼン



資金  
提供者  
(市民)

出資



実績

2001年 山口県  
2004年 東京都

地域内の直接金融

## 市民が起こす公共サービス

# 事業型NPOの台頭

NPO法人名称	設立	事業	出資一口	総額	事業収入
グリーンエネルギー 青森	2003年	市民風車	10万円	1億7,820万円 (776人)	売電
北海道 グリーンファンド	2001年	市民風車	50万円	(260人)	売電
ほっとコミュニティ 江戸川	2004年	共同住宅	5万円	1,100万円	家賃

直接金融

市民から直接資金を募る

地域事業

地域に貢献する事業が対象

## 市民が起こす公共サービス

## 社会的企業

公共的な財・サービスを  
ビジネス的手法で提供

公益 + 営利

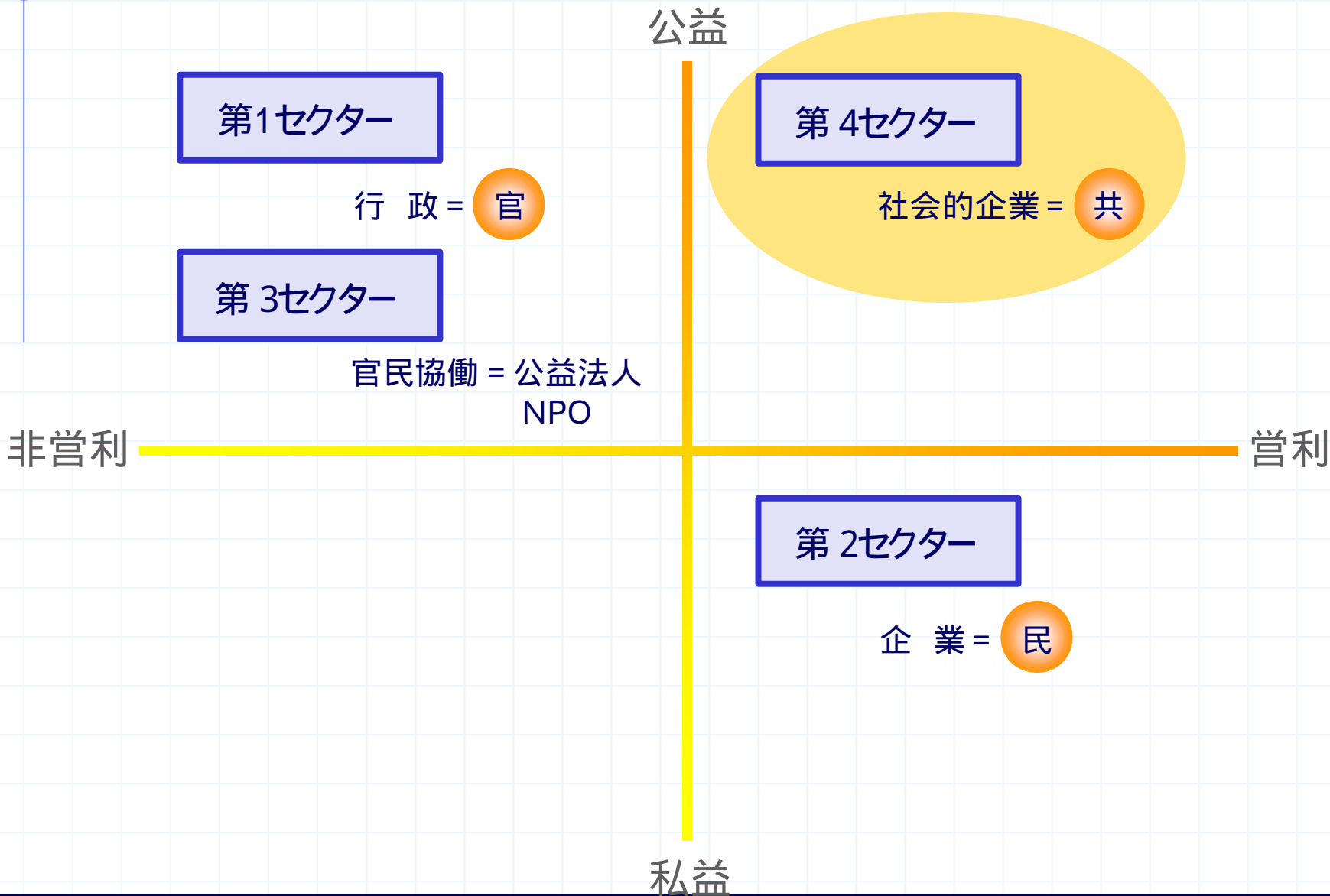
地域で集めたお金を生み  
地域貢献事業でお金を使う

地産地消

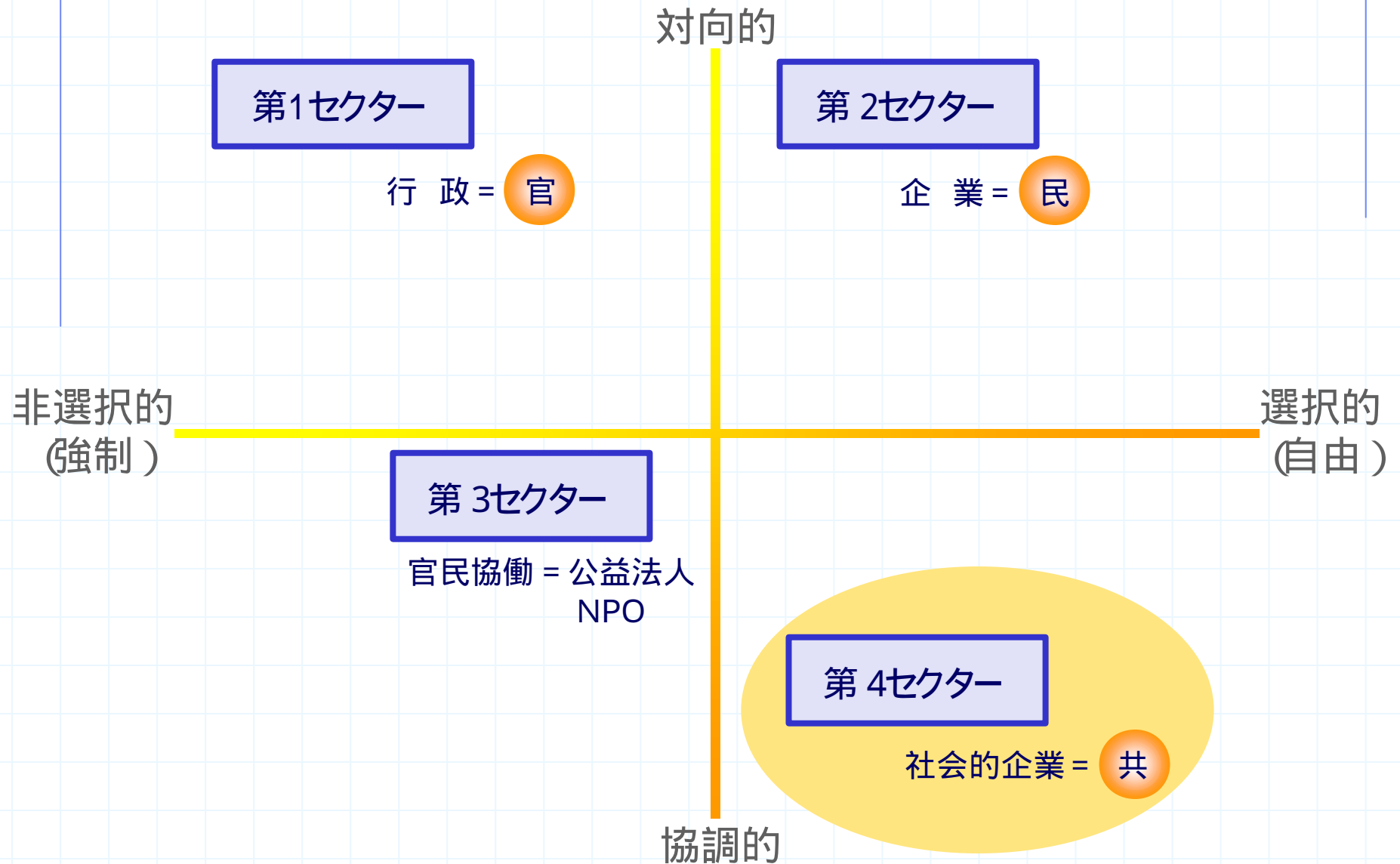
社会的企業 = 共 = 第4セクター

# 市民が起こす公共サービス

# 第4セクターの位置付け(1)



# 市民が起こす公共サービス 第4セクターの位置付け(2)





**END**